

【国語－１】

実践事例：小学校１～２年生 ／実施機関：国立大学法人筑波大学

●教科における学習上の予想されるつまづくポイント

- ・音読が困難なために生じる読解の困難さ
- ・ひらがなの読み書きが困難であることがきっかけとなる、カタカナ、漢字の習得の困難さ
- ・努力しても習得が困難であることによる自己効力感の低下

【指導例】

1. 対象とした児童生徒の実態

(1) 対象の障害

- 自閉症 情緒障害 LD（学習障害） ADHD（注意欠陥/多動性障害）  
その他

(2) 子供の困難さ

- 見ること 聞くこと 話すこと 読むこと 書くこと 動くこと  
コミュニケーションをすること 気持ちを表現すること  
落ち着くこと・集中すること 概念（時間、大きさ等）を理解すること  
学習（計算、推論等）すること その他

読み書きの習得度

ひらがな１文字 音読 70/102 書字 68/102、  
ひらがな単語 音読 19/20、書字 2/20 (<-2SD)、  
ひらがな単語音読速度 +2SD 以上遅い  
カタカナ単語 音読 19/20、書字 5/20 (<-2SD)、  
漢字単語 音読 4/20 (<-2SD)、書字 2/20 (<-2SD)、

認知能力

WISC-IV FIQ87: VCI93、PRI82、WMI88、PSI94

自動化能力：問題なし

音韻能力：非語の復唱 1/10 (<-2SD)、単語の逆唱には問題なし

視覚認知能力：WISCの積木模様5（運動の巧緻性には問題ないため視覚認知能力が弱いと判断した）

語彙力：問題なし

2. 教科における学習上のつまづきを把握するための方策

(1) 実態把握の時期

7月、9月、11月、11月以降

(2) 実態把握の方法（実施者・方法）

標準読み書きスクリーニング検査（STRAW-R）の実施（7月、9月、11月）、  
文字習得に関連のある認知検査（11月以降）

3. 指導内容

(1) 教科における学習上のつまずきの内容

ひらがな、カタカナ、漢字の読み書き、

(2) つまずいている背景・原因

音韻能力と視覚認知能力が弱いため（知能は正常）

(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

対象児童への個別支援を見学していた担任が、個別支援で使用していた教材を通常学級での全体指導に取り入れ、わかりやすい授業になるよう配慮した。児童が好きなキャラクターをカタカナカードにしてカルタを楽しんだり拗音サイコロで拗音の復習を取り入れたりした。

学級全体で聴覚法的に、50音表を唱える方法を取り入れた。また、個への配慮としては、対象児が聴覚情報のキャッチに課題があることが検査からも明らかであったので、全体へ指示した後に、個別に声をかけるようにした。

(ii) 個別指導について（取り出し指導、通級による指導との連携など）

放課後に取り出し指導を実施、担任がどのように取り組んでいるのか見学していた（内容）一週間に5日、一日一回6分以内の練習を家で行ってもらうようにした。

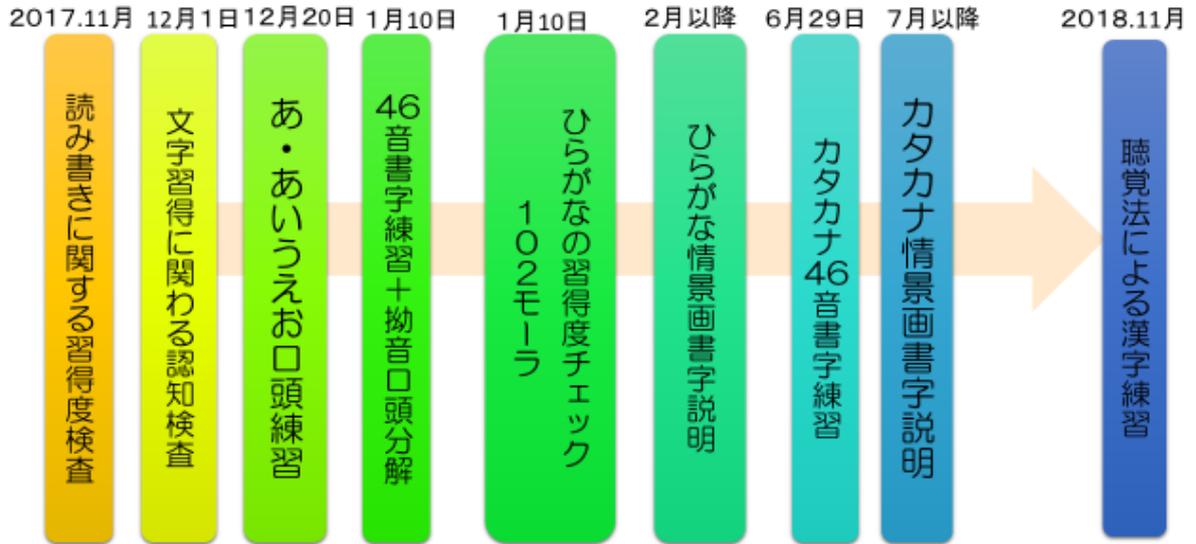
50音表を、最初は口頭（音系列）で覚えてもらい、次に書けるように練習してもらい、最終的に2分以内で書けるようになった。拗音は、さいころを用いて集中的に練習を行った。応用練習として情景の書字説明を導入した。

(4) (3) の効果・評価（児童生徒の様子や変容および授業の評価）

ひらがな単語書字は、2/20→17/20、カタカナ単語書字は5/20→17/20の正答数まで上昇し、拗音は一か月間の練習で16/33→32/33と正答数が伸びた。ひき続き、カタカナの練習を続けている。

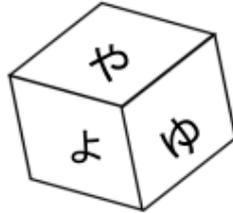
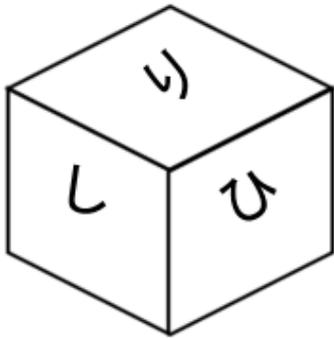
対象児童は、約束した練習時間や日程を守ることで褒められ、かつトレーニングの効果も示すことができたため、方法を変え努力することで目標が達成できることを経験できた。その経験を通して、自信ができたように思われ、授業の中でも元気に発言するようになってきたように思われる。また、保護者から学校に対する信頼が得られたように感じる。情景書字説明では、ひらがなやカタカナの書字の定着だけでなく、構音に課題のある対象児童にとって大変有効であった。日常生活の口頭での会話では聞き逃してしまうような構音の間違いを文字に書くことで発見し、発音についても指導することができた。

# トレーニング スケジュール



## 拗音の練習

～拗音サイコロ～

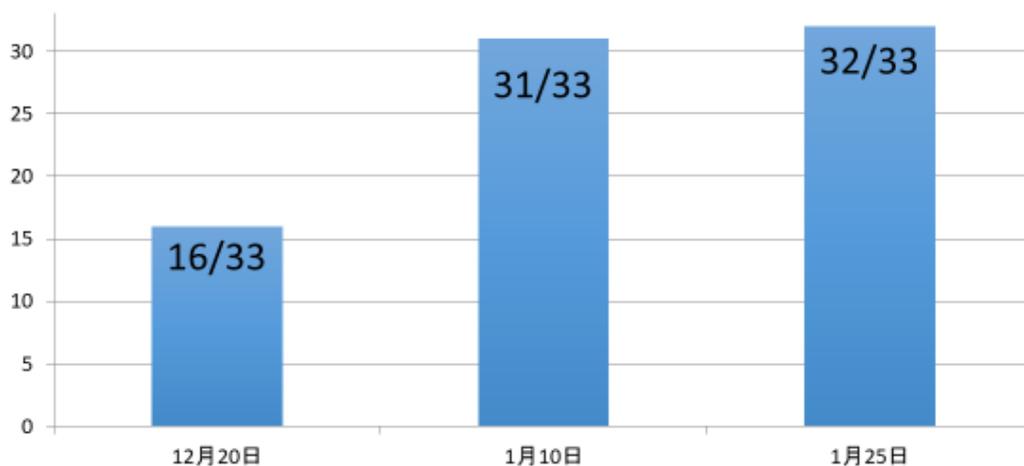


「り」と「小さいや」  
でりゃ

楽しみながら拗音を  
口頭分解して練習



## 拗音の口頭分解 トレーニング（拗音33音）



## カタカナ清音（46音） 書字タイムの推移

